

■発行:平成21年5月20日

4月臨時会

- 2p 正副議長ごあいさつ
- 3p 第2期議員の顔ぶれ
- 9p 新体制が決定
- 10p 議決結果

市議会だより

しほら

Shobara city council magazine

第18号

庄原市議会 第2期スタート!



4月
臨時会

議長、副議長決まる

4月24日に開会した第3回臨時会において、正副議長の選挙を行い、議長に竹内光義議員、副議長に佐々木信行議員をそれぞれ選出しました。

就任ごあいさつ

このたびの市議会臨時会におきまして、議員の皆さんのご推挙により議長に就任いたしました。庄原市議会の代表として、この職責の重さに身の引き締まる思いでございます。もとより微力ではございますが、ふるさと庄原のために全力を傾注していく所存でございます。

さて、今回の市議会議員選挙から選挙区が市内全域になったわけですが、選挙運動を行う中で、改めて庄原市は広いということを実感いたしました。それと同時に市民の皆様いろいろな声を聞くことができました。やはり市民の皆様の声聞き、私たち議員はそれをしつかりと受けとめて、議会運営を行わなければならないと痛感したところで。

新生庄原市は誕生してから4年



議長 たけうち みつよし
竹内 光義

が経過し、旧市・町の大きな壁や溝にも、一体感が醸成される中で少しずつ光が見え始めたように思います。この光が時間を経過することにより大きくなり、やがては市域全体の壁や溝がなくなるよう、市民の皆様、執行者とともに手を携え努力してまいります。

人口減少社会の到来と深刻な世界不況などにより、本市もさまざまな課題に直面しています。その課題解決のため、市民の皆様へ託された議会として、監視機能を生かし、物事の是非をしつかりと議論していきたいと考えています。そのためには市民の皆様とわかりやすい、開かれた議会運営をめざします。

最後になりましたが、市議会に對しまして、今後とも市民の皆様のご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

就任ごあいさつ

4月24日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により副議長の要職に就くことになりました。誠に光栄に存じますとともに、その責任の重大さを強く感じている次第でございます。

庄原市は、少子高齢化、財政問題、農業を含む産業課題など解決しなければならぬ多くの課題を抱えています。そうした中、議会の果たす役割はますます重要になってきています。

市政へのチェック機能はもとより、議会としての政策立案機能の充実も必要であると感じており、市民の皆様の声を実剣に受けとめ、市政に反映させることが、議会の役割であると考えて



副議長 ささき のぶゆき
佐々木 信行

います。

微力ではございますが、市政の発展と公正かつ円滑な議会運営となるよう、議長の補佐役として誠心誠意努力をいたす覚悟です。常に物事を前向きにとらえ、過去を反省しながら、次の世代の人たちのためにも、与えられた使命を果たしていく所存です。

市民の皆様により一層のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。ごあいさついたします。



第2期議員の顔ぶれ

(任期 平成21年4月17日～平成25年4月16日)

今後の抱負や自分の思いなど、自由に書いてもらいました。



とくなが ひろあき
徳永 泰臣

新生庄原市誕生から4年が経ち、初めての全市一円での選挙でした。あまりに広範囲なため、体力、気力ともに使い果たし、フラフラになりながらも何とか新人として当選させていただきました。

選挙で全地域を歩かせていただきましたが、合併して何も良かったことがない、そういった不満をよく耳にしました。

私はそういった市民の声、若者の声を市政に必ず届けていきます。そして、元気で活力のあるまちづくりをめざしていきます。

大変厳しい選挙の中で市議会議員25名の中の1名に選ばれたこと、多くの皆様にご支持をいただいたこと、その責任の重大さを肝に銘じて、これから一步一步、着実に前へ前へと進んでいきたいと思えます。



ふくやま けんじ
福山 権二

平成の大合併から4年。国が配分する地方予算の削減と田舎切り捨てが目的の自治体合併は地方の過疎高齢化を進めています。地方交付税額の増減が市財政に影響し、市民の負担は増加の傾向です。また、世界的不況が市内の多くの産業を直撃していることから、公平な市財政運営を求める市民の声は強くなっています。

議会の重大な責任を痛感します。市外で学んだ庄原市出身の若者のほとんどが帰郷できない現状は、庄原市の将来を不安にさせています。人口年間約800人減、年間125世帯減という現実は深刻です。このままでは、庄原市は人の住めない地域になってしまいます。

市民の皆さんとしっかり話しあって、環境を守り、医療を確保し、高齢者を大切に、子どもを産み育てられる当たり前の行政、若者が働ける庄原市を創るために全力を尽くします。



さかもと よしあき
坂本 義明

「頑張れ」「もつと頑張れ」との声援を背にやっとの思いでたどりつきました。そして今度は必死の思いで市政についての勉強です。今回たくさんの支援を得て新顔の議員となりましたが、支持者の方々の顔を思い浮かべますと、責任の重大さに身の引き締まる思いで一杯です。しかし、慌てず、急がず足を地にしっかりとつけてじっくりと市政について取り組みたいと思います。

今後は、絶えず市民の皆様目線に立って、幅広く意見を求めて市内を走り廻ることを今後の私のライフワークとしていきたいと思えますので、どんな場所でも結構ですから声を掛けてください。そんな親しみのある議員をめざして頑張る、そして本当の意味での特色ある庄原市になるよう皆様と議論をしていきたい。こんな思いで、今……以後も、初心を忘るべからずです。



よころ まさゆき
横路 政之

合併後初めての全域選挙を終えて、改めて庄原市の広さを実感いたしました。この広い本市がどうしたら暮らしやすい地域になっていくのか、また人口が増加していくのかを真剣に考え、次に掲げる項目について実現をめざし行動してまいりたいと思います。

「希望」をもって子育てができる生活をサポートします。

「未来」を担う子どもたちの、個性を伸ばせる教育環境を充実します。

「福祉」の充実。高齢者・障害者が安心して暮らせるまちづくりを推進します。

「地域・環境」を活かし、中山間地域が発展するまちをめざし働きます。

「安全・安心」で人にやさしいまちづくりを推進します。

以上、誠実に・現場第一主義をモットーに働いてまいります。



はやし たかまさ
林 政正

はやし高正は、自分で言うのもなんですが、真つ直ぐ過ぎる議員です。言葉で表現するならば、愚直であり、馬鹿正直かもしれません。

私の基本姿勢は、「住民目線で物事の判断をする」です。

つまり、執行者の提案に対して、住民福祉の向上に結びついていくか否かということを実剣に議論し、政策提案も行いながら、住民にとっての最善の道を探るということを実践していきます。

そうです、1期目と何ら変わらなスタイルのはやし高正を通します。これからの4年間は、庄原市の大きな試練の4年間と私は予想しています。皆さんと共に、「夢を語れるまち」の実現をめざして頑張ります。

まずは、全議員による「議会報告会」の開催です。

はやし高正の4年間の活動チェック、よろしく願っています。



なかはら たくみ
中原 巧

知っていた、判っていたはずなのに、何と空き家や独居・高齢者のみの2人暮らし世帯の多いことか。

この選挙を通して、今、行政は何をなすべきかを無言の中に問われていると感じたのは私だけであろうか。

このままで定住対策を怠り、漫然と現実を傍観していれば、近い将来、廃墟と化したまちが出現することは明白である。人の声や足音が聞こえない所に経済の流通はなく、農林業や商工業が発展するどころか、公共事業さえ導入されなくなる恐れさえある。米国に端を発した世界同時不況により、あらゆる企業はこの不況を脱しようとする懸命に努力されている。

今、庄原市出身の偉大な諸先輩方の中には、政治経済界で活躍されている方がいる。これらの方々にお願いし、まだまだ不況下ではあるものの、一つでも二つでも企業の誘致を図り定住を促進することが農林業や商工業の振興にも繋がるものと確信し、企業誘致活動を微力ではあるものの展開する所存である。



たなか ごろう
田中 五郎

ふるりの

無事の便りや よもぎ餅

それはとりわけ寒い日、小さなよもぎの新芽を摘むお母さんに出会いました。「よもぎは小さいほど香りがいいですよ」とのこと。こんな出合いの感動に涙すること度々の選挙でした。

「感動が脳を活性化させ、人を動かす」とは本当だなあとつくづく実感もしました。

毎年選挙があったら、議員はくまなく全市を歩き、五感で地域や人を知り、人として育ち、選挙費用も、あえての選挙運動も必要ない選挙ができるのではないかと思います。

私は市役所から47キロも離れた「来れるもんなら来てみる」と言いたい限界集落、百姓議員です。でも、県職員、町長、障害児の親、自治振興区づくりなどの体験を感動とともに伝え、市政との中継ぎ役ができると思っています。お呼びください。必ず行きますから。



おかむら のぶよし
岡村 信吉

「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を大きなテーマとして訴え、2期目の市議会議員席を与えていただきました。

景気、経済の低迷、過疎化、高齢化の顕著な進行等の情勢下、中山間地庄原市、また市民生活の5年、10年先はどうなるのであろうか。大変な危機感を持っております。

こうした中、引き続き展開される滝口市政への期待と、一方で市民代表として、その行財政運営を厳しくチェック、また提言する市議会の一員としての重責を痛感するとともに、その職責に全力を傾注していきます。具体的な議員活動目標は次のように考えております。

- 1、財政の健全化
- 2、生活環境の早期整備
- 3、農業を基幹とした産業、観光振興
- 4、福祉、医療、教育の充実
- 5、恵まれた自然環境の保全



なごし むねとし
名越 峰壽

ご支援いただきました多くの皆様方にあらためて心より厚くお礼を申し上げます。

住みたくなる町づくり、住んでよかった村づくりのために、庄原市は何をどうすればよいのか。少子高齢化対策、限界集落的な村々を活性化するために、住民の目線で市政を考え、皆さんの声を聞く場を工夫して、子どもからお年寄りまでの多くの方々を市政に届けます。

中山間地の活性化「元氣な村づくり、元氣な農村」なくして、街の活性化はありません。

私たち地域住民は自治振興区の活動を通して、自分たちの住んでいる町を皆が主役で知恵と協働の力でより元氣な村をつくるために努力いたします。

そして、安心安全な日常生活のため、交通弱者対策（買い物、通院など）、早急に西城市民病院に30キロエリアのバス対策、中山間地の市道改良、地域生活バスをより利用しやすく、各種施設の利用、補助金を活用した農業、畜産、林業により希望の持てる村づくりに努力いたします。



あかぎ ただのり
赤木 忠徳

新生庄原市の多くの課題に対処せよとの市民の皆様の期待に感謝し、身の引き締まる思いと同時に大きな荷を背負ったことを実感しております。

庄原市は財政の健全化を避けて語れませんが、健全化の方向に舵を切っていますので安心していただきたい。こんな時こそ、庄原市の大きな夢を描く必要があると考えます。

「住み良い街とは」生活に直結した医療、介護、福祉、教育、環境、経済、何一つ欠けてもいけません。

市民に理解され、必要とされ、生かされ、目に見える行政施策が必要です。そのためには、多くの皆様と話し、議論し、説明する責任が議会に求められていると思います。

すべての市民の皆様にとって住み良い街になるよう、力を発揮できる環境に汗を流します。

とにかく「働きます」。

さあ、皆さん、できることから一歩ずつ実現に向かって、共に一歩前に踏み出しましょう。



かきうち ひでたか
垣内 秀孝

比和町の垣内秀孝でございます。

新生「庄原市」がスタートして4年が経ち、今回、議員の再選により栄を担うことになりました。温かいご支援をいただきありがとうございます。

合併して市政は身近でなくなった、地域の活性化に市は何もしていない、との多くの声の中で、「合併協議で約束された建設計画を柱にして、一極集中の弊害をなくし、地域社会を守る取り組み」をしてまいりました。引き続き微力ではありますが、均衡をとる政策と各地域の特色を活かす方策により一体感の醸成に向けて尽力してまいります。

少子高齢化社会の実態を見据えての施策や、本市のまちづくりは農業を骨格とする基幹産業推進が本来の姿であると考え、足元の自治振興区で議論を深め、住民の皆様と協働して農村社会を守るため全力を尽くします。



にしむら かずまさ
西村 和正

人口減少社会の到来と深刻な世界経済の状況で、さまざまな諸課題に直面しているのが現状であり、本市全域を活力と魅力ある地域にしてい

くためにも、地場産業の育成はもとより、本市基幹産業であります農林業で高い所得をあげることができるよう、市場の拡大、設備投資に対する助成措置の推進、法人化の促進による経営支援など地場の資源を生かした産業として拡大成長させることが急務であると考えます。

また、庄原市の人口は合併時に比べて2、400人も減少しています。この人口減少に歯止めをかけるためにも就業の場の確保が急務であり、優遇施策の実施により企業立地の促進を図り、Iターン、Uターンを含め、若者の定住対策を積極的に進めてまいります。

また、教育、文化や医療福祉対策など整備充実が必要な課題解決に取り組んでまいります。



ふじやま あきはる
藤山 明春

「初心を忘れず」

新生庄原市は、誕生以来5年目を迎えました。

百年に一度の不況と少子高齢化の中、我々議員に課せられた使命は重いものがあります。

私は、今回の選挙にあたり、次の4つの行動指針を掲げております。

1. 障害を持った方や高齢者が安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 若者定住への条件整備と地域再生
3. 食べていける農林業の振興
4. 教育条件の整備

「初心を忘れず」、全力で職務を遂行したいと考えております。

叱咤激励とご指導をよろしくお願ひいたします。



ふじき くにあき
藤木 邦明

お約束の実現に全力を尽くします。ご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

- 若者の働く場の確保
 - 日赤での出産医療の再開
 - 第2子、第3子の保育料を無条件で軽減
 - 中学3年生まで医療費の無料化
 - 耐震診断に基づく庄原中、庄原小等の建て替え
 - 国保税の引き下げ
 - 老人ホームの増設、高齢者医療の充実、後期高齢者医療制度の廃止
 - 資源ゴミ、紙おむつの無料収集
 - 食糧自給率の向上、米の価格保証制度の復活、イノシシ駆除の徹底
 - 住宅、店舗のリフォーム助成制度の創設
- 財源は、不要不急の大型建設事業の凍結や経費の節減、国保基金の充当等で生みだします。



かどわき としてる
門脇 俊照

合併後、初の全市広域で行われた選挙は、私にとって楽しくもあり苦しくもあり、何よりも庄原市の課題が改めて良くわかった選挙でした。

旧市町を歩く中、山林は荒れ、田畑の放棄地、空き家が目立ち、お年寄りだけの家庭、一人暮らしの老人などが目立ち、これまでに思っていた以上に高齢化、集落の荒廃を実感し、地域の崩壊が心配になりました。今でも、庄原市の75歳以上の方は、人口の4分の1にあたる10、000人、これに団塊の世代が加わった時を想像したら、空恐ろしさを肌で感じました。10年後の庄原市のイメージを議会においても共有し、協議を重ねていきたいと思えます。

選挙期間中、不謹慎と言われそうですが、選挙の心配で落ち込む心を知ってか、遊説の先々で満開の桜が咲き誇り、元氣と勇気を与えてくれました。

桜咲く庄原、四季を通して楽しむ庄原。

生まれて良かった、住んで良かったと言える庄原市づくりに全力を尽くしていきます。



こだに 小谷 だに 鶴義

新生庄原市がスタートして4年が
終わり、新たに選挙区も全市一区に
なり議員数も25人になりました。

議会議員として、庄原市全域の
の代表者としての自覚を持つ議員を
めざしてまいります。

地域の少子・高齢化は過疎化の進
行を早め、疲弊していく周辺部に
対する取り組みについては、周辺部
身の議員として現実を訴え、地域の
声を提言し市政に反映すべく最大
限の努力をしてまいります。

広い面積の庄原市は、合併してか
ら一体感の醸成を図ってまいりま
したが、中心部と周辺部の人的交流・
心の交流、すなわち人の心の一体
感が特に必要と感じております。

この4年間に期待される責任と実
行が市政と議会の大きな責務と思
っています。

自分も議員として品格、資質の向
上に努め、皆様の期待に応えたい
と思えます。



うえだ 宇江田 とよひこ 豊彦

庄原市の直面する諸状況の厳しさ
は、改めて申すまでもありませんが、
その中でも少子高齢化・主要産業の
衰退・都市機能後退などにより人口
減少が進んでいることは非常に大き
な課題です。

このことにより本市の自治体とし
ての市民生活を支えるさまざまな取
り組みを縮小せざるを得ない実態が
生まれ、生活しづらさが深刻化して
います。

学校教育から言えば、小学校9校
が休校し、中学校は1校が休校しま
した。さらには高校についても、高
野山分校が閉校され、県教育委員
会の方針により、他の高校も大変心
配な状況になっています。

次々に都市機能が縮小されてゆく
と、ますます住みにくいまちとなり、
さらに加速度的に人口流出が進むこ
とが懸念されます。都市機能をでき
る限り守りながら、産業活性化へ向
けての取り組みを進めなければ、暮
らしにやさしい安心のまちは確立す
ることはできないと思えます。市民
の皆様とともに全力で頑張ります。



のざき 野崎 ゆきお 幸雄

先の市議選におきましては、皆様
の温かいご支援をいただき、お礼を
申し上げます。

初めての全圏一区の選挙戦で、そ
の広大な市域を体験することができ
ました。

「こんな地区もありますよ、見捨
てないでくださいね」とか、「議会
のチェック機能はどうなっているの
か」と厳しいご意見もいただきました。
議会として市政に反映していきたい
と思います。

今後も「げんき」のある「くらし
やすい」ふるさとをめざして、子ど
もたちの教育環境や地域文化の振興・
充実、高齢者や子どもたちをはじめ
市民が安心して暮らせる支援策、ま
た地場企業をはじめ農林畜産業の振
興による豊かな暮らしの実現、自治
振興区等、地域・市民活動の推進な
ど、多くの課題に積極的に取り組ん
でまいりますので、より一層のご支
援を賜りますようお願いいたします。



やたがい 八谷 ぶんさく 文策

私は教育のさらなる充実と農林業
の再生、福祉の向上をめざしてい
ります。

教育の充実、一つは施設の充実
と二つには心の教育の充実でありま
す。特に心の教育は大人社会の心の
すざび様が若者社会から幼児にまで
影響しているのではないかと感じら
れます。

農林業の再生は今まさに最後のチャ
ンスでしょう。山林という水・空気
を再生する機能を持った場所を見過
ごしにするのか、全国津々浦々まで
広がる広大な水田というダムを切り
捨てるのか。重ねて最後のチャンス
と叫びたい。

そして、福祉の向上は私が申し上
げるまでもなく、私たちを育てはぐ
くみ高齢になったという理由で切り
捨てを許すことはできません。
さらにすべての障害を持つ方々に、
より高度な温かい制度を用意してい
く努力をしてまいります。



たにぐち たかあき
谷口 隆明

私は、帝釈峠の山の中で暮らしています。

今度の市議選で改めて感じたのは、どんな山奥にも人々の暮らし・田畑があり、里山を守る営みがあるという事です。他人から見ればどんなに不便なところでも、そこにはそれぞれの人生・生きがい、そして歴史があります。

合併して広大な市になり、「どこに住んでいても安心して暮らせる」というきめ細かい目配りが、ともすれば忘れられていないか。「バス停まで数キロメートルあり、もう歩けない」「救急車も入らない」といった現実はどう応えるかが問われています。

市街地の片隅から山奥まで気配りのできる市政、子どもからお年寄りまで弱者の立場に立てるあたたかい市政が、今ほど求められているときはありません。自治振興区を育て、自立した地域づくりをめざすことは大切ですが、行政の原点は忘れてはならないと思っています。



わだ みつよし
和田 満福

この度の市議会選挙におきましては、再び市政に参画の機会を与えていただいたこと、心からお礼申し上げます。

さて、世界的に百年に一度の大不況の今日、それぞれの地域が特色のある発展をしなければならぬと強く感じております。

本市においては農林・畜産・商工業の確立を図りつつ、国県道及び市道・生活道の充実をするとともに、多目的巡回バスのより一層の利便性、社会福祉（高齢者、子ども、障害者福祉）の充実、感性豊かな教育の充実、医療対策の充実、広域観光ルートの開発をし、交流人口の増大化等々、「庄原市の元氣な未来のために」「民意を大切に」を念頭に置き、初心に返り全力で働かせていただきます。

今後も皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



かしま ひてとし
加島 英俊

この度の市議会議員選挙で再び議会に送り出していただき、誠にありがとうございます。

さて、百年に一度の大不況といわれる今、企業の倒産、雇用の不安が庄原市にも大きく影を落としているのは、皆様もご承知のことと思います。これに伴い財政状況が厳しいのも事実であります。議会として財政の健全化を図るのは当然のことであり、行政改革は必要であります。

私は皆様との対話を通じた行政改革を進め、弱者だけにしわ寄せがいくのではなく、一人ひとりが大切にされるまちづくりをめざしてまいります。皆様の声を市政に反映させ「げんきとやすらぎのさとやま文化都市、庄原市」を創ってまいります。

西日本一の広さを持つ庄原市です。皆様の声をお聞かせください。明日の庄原市をもっと創っていきましょう。



ひらやま としのり
平山 俊憲

合併して4年が過ぎた。

4月の市議会議員の改選にあたり、引き続き議席を与えていただきありがとうございます。

全域を回るたびに、そこに住む人の文化に気づく。

役所が一つにはなったが、今のようなことでは到底行き届いた政治ができていないとは思えない。

このことは、この度の選挙で議員各自が強烈に感じたはずだ。

今もって多くの若者が子ども連れを含めて庄原を離れている。

その理由が気掛かりでならない。地域の集会へ呼ばれる。若い人から税金を払った効果のある街に住みたいとよく言われる。これ以上負の気持ちではいけない。

対策を急ぎたい。

また、東城と庄原の距離を縮めることが必要と感じている。

みんなで協働することで、市民一人ひとりが勇気を持てる政治にしたい。

4月臨時会

新体制が決定!

改選後、初議会となる平成21年第3回臨時会において、常任委員会委員などが次のとおり選任されました。

なお、常任委員会及び議会運営委員会、議会広報委員会の任期は2年となっています。

総務財政常任委員会

(9人)

委員長 中原 巧
副委員長 小谷 鶴義
委員 平山 俊憲
和田 満福
宇江田 豊彦
藤山 明春
竹内 光義
西村 和正
坂本 義明

教育民生常任委員会

(8人)

委員長 赤木 忠徳
副委員長 福山 権二
委員 八谷 文策
藤木 邦明
垣内 秀孝
名越 峯壽
林 高正
横路 政之

産業建設常任委員会

(8人)

委員長 加島 英俊
副委員長 谷口 隆明
委員 佐々木 信行
野崎 幸雄
門脇 俊照
岡村 信吉
田中 五郎
徳永 泰臣

議会広報委員会

(5人)

委員長 佐々木 信行
副委員長 中原 巧
委員 赤木 忠徳
加島 英俊
竹内 光義

備北地区消防組合議会議員

(7人)

加島 英俊
小谷 鶴義
西村 和正
垣内 秀孝
赤木 忠徳
中原 巧
林 高正

〔所管〕

農林振興課、商工観光課、環境衛生課、建設課、農村整備課、都市整備課、下水道課、簡易水道課、農業委員会及び水道課の所管に属する事項

議会運営委員会

(8人)

委員長 野崎 幸雄
副委員長 西村 和正
委員 平山 俊憲
谷口 隆明
宇江田 豊彦
小谷 鶴義
藤山 明春
横路 政之

甲双衛生組合議会議員

(2人)

横路 政之
坂本 義明

広島県後期高齢者医療 広域連合組合議会議員

(1人)

竹内 光義

〔所管〕

市民生活課、保健医療課、社会福祉課、高齢者福祉課、女性児童課、教育委員会(教育総務課、教育指導課、生涯学習課)及び西城市民病院の所管に属する事項

〔所管〕

総務課、政策推進課、企画課、財政課、管財課、自治振興課、税務課、会計課、選挙管理委員会、監査委員事務局、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び議会事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会に属しない事項

議会選出監査委員

名越 峯壽

平成21年
4月

臨時会議決結果

会期
4月24日
(1日限り)

種類	番号	分類	事 件 名	議決結果
議案	106	条例	専決処分の承認を求めることについて（庄原市税条例等の一部を改正する条例）	原案可決
	108		庄原市税条例の一部を改正する条例	原案可決
	109		庄原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
	107	予算	専決処分の承認を求めることについて（平成21年度庄原市一般会計補正予算 第1号）	原案可決
	110	一般	庄原市監査委員の選任に同意を求めることについて	同 意
議選	3	一般	庄原市議会議長の選挙について	選 挙
	4		庄原市議会副議長の選挙について	選 挙
	5		庄原市議会議会運営委員会委員の選任について	選 任
	6		庄原市議会常任委員会委員の選任について	選 任
	7		備北地区消防組合議会議員の選挙について	選 挙
	8		甲双衛生組合議会議員の選挙について	選 挙
	9		広島県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	選 挙

* 議案110号、議選5～9号については、9ページをご参照ください。

主 な 議 案

議案第107号

専決処分の承認を求めることについて
（平成21年度庄原市一般会計補正予算
第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,380万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ310億4,190万円としたものです。 ▶ 原案可決

専決処分とは？

議会を招集する時間的な余裕がない場合など、限定的に首長が条例の公布や予算を執行することです。

ただし、その場合にはその後の本会議において議会の承認を得る必要があります。

議会の動き

4月

4 月

- 14日 第1回新人議員研修会
議会説明会
- 16日 第1期議員任期終了
- 17日 第2期議員任期開始
- 21日 議員全員協議会
- 24日 議員全員協議会
第3回臨時会
議会運営委員会
総務財政常任委員会
教育民生常任委員会
産業建設常任委員会
議会広報委員会

会派

5月7日現在で、会派結成届のあったものは次のとおりです。

清政会

会長 佐々木 信
副会長 中 原 巧 行

日本共産党

代表 藤 谷 木 口 邦 隆 明 明
副代表

市民の会

代表 福 宇 江 田 権 豊 二 彦
事務局長



教えて！博士



庄助くん

「今回は議席について知りたいんだけど……」



庄助くん

「庄原市議会はどういう順番で座っているの？」



博士

「議席とは、議場における議員の座る席のことを言うんだよ。議員は会議中の多くの時間をこの議席で過ごしているんだ。」



博士

「12ページに庄原市議会の議席の写真と説明図が載っているよ。1番から3番までは今回初当選した議員で、年齢の若い順に1番から座っていくんだ。4番からは2期目の議員が前回の議席番号の若い順番から座っているんだよ。」



庄助くん

「座る席は決まっているの？」



博士

「一般選挙後の最初の議会において議長が定めることになっているんだよ。」



庄助くん

「へえそうなのか。ありがとう、博士。よくわかったよ。」



6月定例会の予定

6月定例会は6月下旬に開会する予定です。

詳しくは議会事務局（TEL0824-73-1162）までお問い合わせください。

議会を傍聴してみませんか。



3月定例会傍聴の様子

本会議はどなたでも自由に傍聴できます。

議場は市役所本庁舎5階にあります。

お気軽に傍聴においでください。

議席はこのようになっています



傍 聴 席（一般席41、記者席7、車椅子スペースもあります。）

25番 平山俊憲	24番 加島英俊	23番 和田満福	22番 谷口隆明	21番 八谷文策	20番 佐々木信行	19番 野崎幸雄		
18番 宇江田豊彦	17番 小谷鶴義	16番 門脇俊照	15番 藤木邦明	14番 藤山明春	13番 竹内光義	12番 西村和正	11番 垣内秀孝	10番 赤木忠徳
9番 名越峯壽	8番 岡村信吉	7番 田中五郎	6番 中原 巧	5番 林 高正	4番 横路政之	3番 坂本義明	2番 福山権二	1番 徳永泰臣



議会広報委員会

委員長 佐々木 信行
委員 中 原 巧
委員 赤 木 忠 徳
委員 加 島 英 俊
委員 竹 内 光 義

編集後記

4月に行われました市議会議員選挙にあたり、市民の皆様のご支援のもと25名の議員が当選させていただきました。

改選後の臨時会で議会構成が決まり、新たな議会広報委員で第18号の市議会だよりをお届けすることができました。

市民の皆様にはわかりやすく、親しみやすい紙面づくりを心がけ編集していく所存です。

今回の市議会だよりは、改選後のはじめての発行ということで、議員全員の顔写真と抱負を掲載させていただきました。

また、市議会ホームページも作成しておりますので、市議会だよりとあわせてご利用いただければ幸いです。